

香川防犯ボランティア隊
休日隊の創設

【ボランティア隊の活動状況】

現時点の隊員数 123 名 26 隊で編成され、香川小の学区である「みずき地区」「松風台地区」「甘沼地区」の賛同と「茅ヶ崎署」「市役所」との連携で、香川駅前防犯連絡所「さくらハウス」を拠点とし、原則毎日 14 時～16 時に地区内の防犯パトロールと香川小学校児童の下校時の見守りを住民の目線で活動し、パトロール開始後は地区内の犯罪の発生が半減 [茅ヶ崎署資料] しています。

【活動に於ける問題点】

平成 18 年 2 月に創設したパトロール隊は現役をリタイアされた方々が主体で活動してきました。

現在、ボランティア隊創設後 8 年目になりますが当初より活動の方々の内には体調不良などで活動に不参加または辞退を余儀なくされる方も多々あり、広報かがわ、口コミ等で隊員を募っていますが応募者が少なく、善意で活動されている隊員数が年々減少傾向にあります。

【防犯部会での対策】

H24 年 11 月度&12 月度部会にて将来に向けての活動について討議検討、部会としての対策案を実施する。

【新たな活動内容】

- ① 防犯部会員により休日隊創設(増設)して H25 年度に試行する。
- ② 活動日は毎月第二土曜日とし、原則 14 時～16 時とする。
- ③ 活動内容はさくらハウスを拠点としてパトロール、さくらハウス内で部会会議を状況に応じてフレキシブルに行う。
- ④ 隊名は「防犯部会員隊」とする。
- ⑤ 休日ならば活動に参加できる現役の方を募り隊に編入活動し、所定の人数に達した場合は別の休日に隊を増設する。
- ⑥ 休日隊の方が現役をリタイアした場合は隊員数の少ない平日隊に移籍をお願いする場合もある。

【期待される波及効果】

- ・次世代の方々に防犯活動を通して自治会活動が理解され、更なる展開があることの期待。
- ・現在自治会館で行っている部会会議を多くの方々の目に触れる「さくらハウス」で開催することにより自主活動の PR 及び犯罪抑止になることの期待。